

SAKURA SAKU PLAN

NEXT

2018.1



# はじめに

## さらなる飛躍を目指して



病院長 小椋 祐一郎

サクラ咲くプランは2014年に策定され、職員の皆様のご協力のもと、様々な取り組みを実現してまいりました。2018年から大学は第3期中期計画を迎え、2025年問題、地域医療構想、診療報酬改定など、我々を取り巻く医療環境も大きく変化していきます。

このサクラ咲くプランNEXTには、これらの環境の変化を踏まえ、将来を見据えた当院が進むべき道しるべをお示ししています。さらなる飛躍を目指して新たな未来を実現してまいりましょう。

### <目次>

経営理念	P.2
サクラ咲くプランとは	P.3
サクラ咲くプランの振り返り	P.4
これまでの軌跡	P.6
今後の人口動向と病床機能の分化	P.7
SWOT分析	P.10
サクラ咲くプランNEXTの計画	P.12
1.高度医療提供のための病院施設等の再整備	P.13
2.市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化	P.16
3.臨床研究の強化による新しい医療の創出	P.20
4.地域社会を担う優れた医療人の育成	P.21
5.安定経営のための経営改革の推進	P.22
6.東部・西部医療センター等との連携強化による 市立大学病院群の拡充	P.24
未来のパフォーマンス	P.28

# 経営理念

## MISSION (当院の使命)

### 《理念》

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

### 《基本方針》

- ・大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋立大学病院	基本方針
<b>理念</b> 当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します	大学病院として、高度先進医療を提供します 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します 心身健やかな中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

## VISION (当院の目指すべき姿)

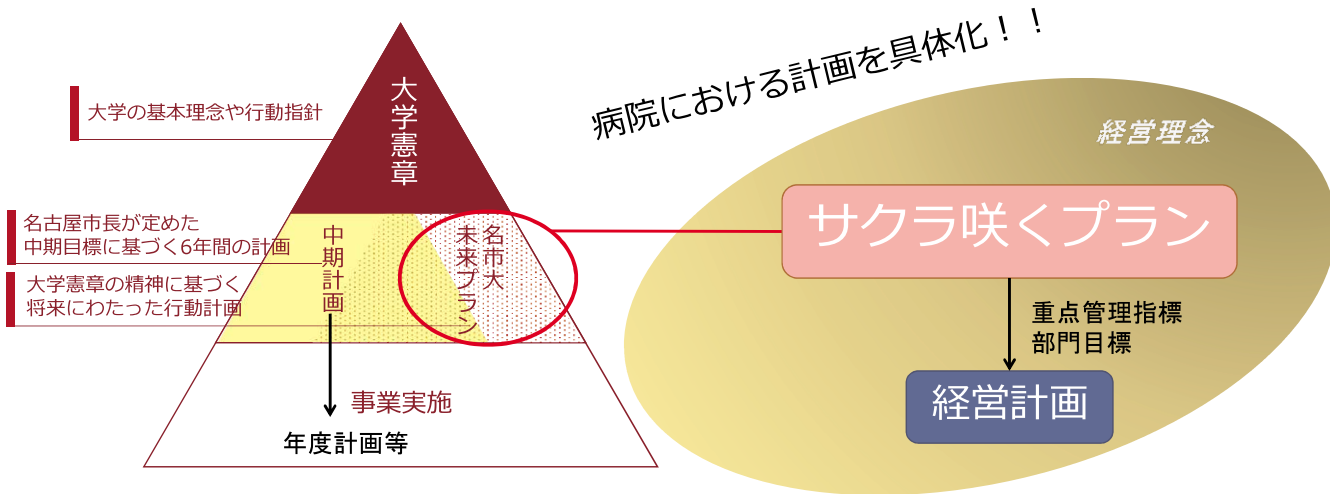
### 高度急性期病院としての医療提供体制の整備

## AMBITION (当院のモットー)

### 笑顔と感動にあふれる病院を目指します

# サクラ咲くプランとは

《大学憲章と名市大未来プランの関係イメージ》



# サクラ咲くプランの振り返り



## 新たな組織設置

- 形成外科の設置
- リハビリテーション科の設置
- 救急科の設置
- 内視鏡医療センターの設置
- 地域医療連携・入退院支援センターの設置
- 不育・不妊センターの設置
- アイセンターの設置

設置完了

## 新たな施設整備

- 手術室拡張
- 内視鏡室の拡張
- 地域医療連携・  
患者サポートセンター整備
- アイセンター新設
- 食堂リニューアル

整備完了

# サクラ咲くプランの振り返り



## フレキシブルな人員配置

- 教員の欠員活用ルール
- 診療担当教授の制度化
- 病院助教の制度化
- 研究担当、救急担当副病院長の設置
- 薬剤部特任助教の制度化

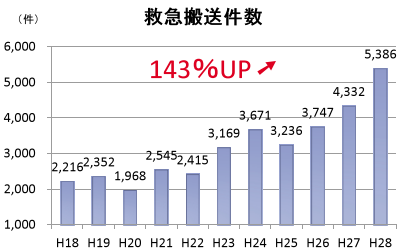
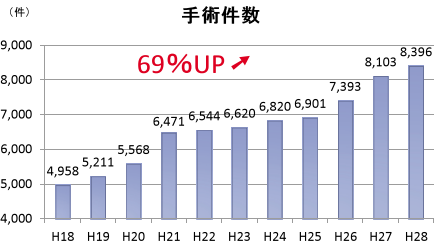
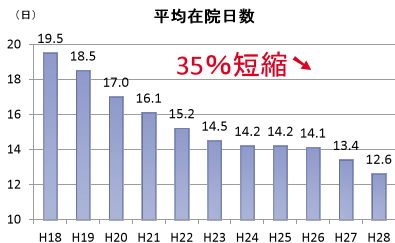
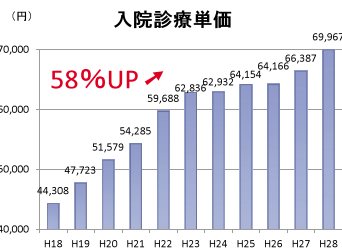
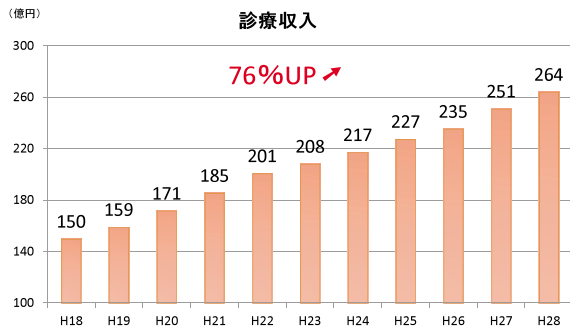
制度化完了

## 経営の安定化

- 運営費交付金の増加
- 病院局や他大学との共同交渉による  
医薬材料費の削減
- 寄附の増加
- 数値目標の達成

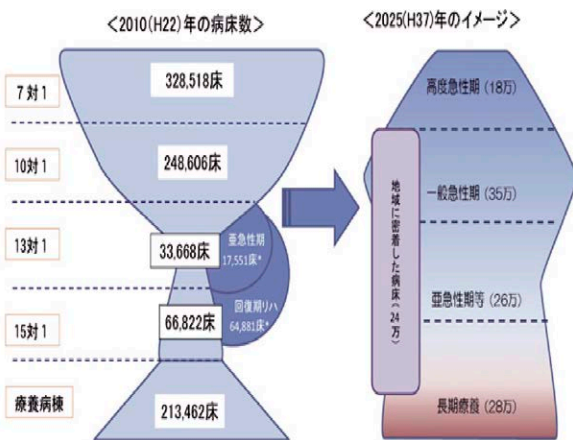
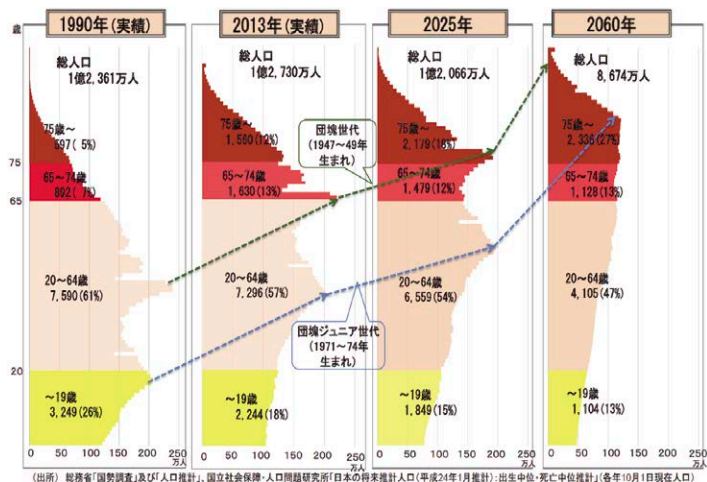
さらなる改善に  
向けて  
継続実施中

# データで見る成長の軌跡



# 今後の人口動向と病床機能の分化

- 団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
- 2060年には人口は8,674万人まで減少するが、75歳以上は全人口の27%に増加する。



高齢化の進行・人口減少

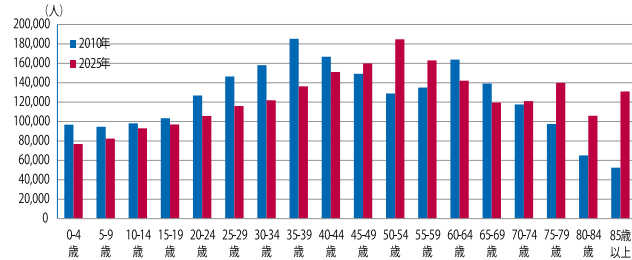
高度急性期病床は1/2へ

出展：厚労省HPより



# 名古屋医療圏の人口動態と地域医療構想

	名古屋医療圏 (人)					全国 (人)				
	2010年	構成比	2025年	構成比	2025年 (2010年比)	2010年	構成比	2025年	構成比	2025年 (2010年比)
人口総数	2,263,894	-	2,247,647	-	-0.7%	128,057,352	-	120,658,816	-	-5.8%
0-14歳	289,642	13.0%	252,259	11.2%	-12.9%	16,803,444	13.2%	13,240,417	11.0%	-21.2%
15-64歳	1,463,977	65.8%	1,377,847	61.3%	-5.9%	81,031,800	63.8%	70,844,912	58.7%	-12.6%
65歳以上	471,879	21.2%	617,541	27.5%	30.9%	29,245,685	23.0%	36,573,487	30.3%	25.1%
75歳以上	215,160	9.7%	376,891	16.8%	75.2%	14,072,210	11.1%	21,785,638	18.1%	54.8%
85歳以上	52,504	2.4%	131,000	5.8%	149.5%	3,794,933	3.0%	7,362,058	6.1%	94.0%



高齢化の進行・人口減少

名古屋医療圏でも  
淘汰!?

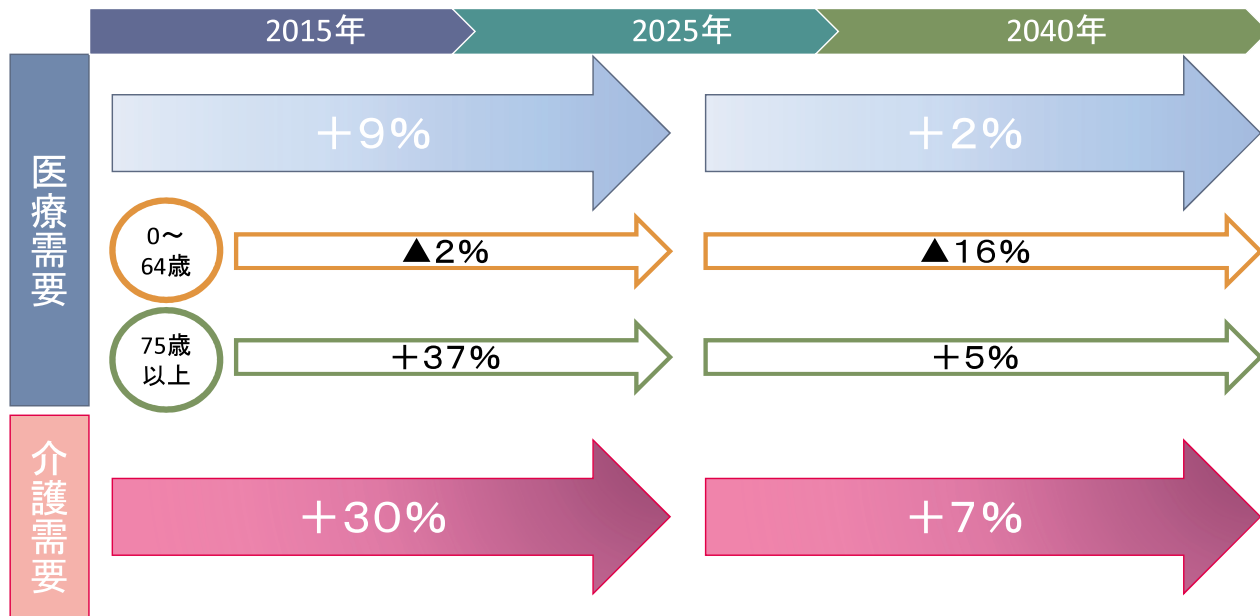
構想区域	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
名古屋 ・尾張中部	平成27年の必要病床数①	2,885	8,067	7,509	3,578	22,039
	平成27年病床機能報告	6,380	8,923	1,989	4,463	21,755
	平成27年の病床数②	6,605	9,238	2,059	4,620	22,522
	差引(①-②)	△ 3,720	△ 1,171	5,450	△ 1,042	△ 483

地域医療構想では、名古屋・尾張中部構想区域においては、高度急性期・急性期病床は過剰、回復期病床は不足する見込みとなっている。

高度急性期病床は1/2へ

出典：国勢調査（平成22年、総務省）、日本の地域別将来推計人口（平成25年、国立社会保障・人口問題研究所）、愛知県地域医療構想

# 名古屋医療圏の医療需要・介護需要



# SWOT分析

## 【強み】

- 大学病院としての高度診療施設と質の高い医療
- 総合大学としての多様性
- 第三者認証評価の認定
- 患者アクセスが良好
- 認定資格を持った専門職がいる
- 設立団体（名古屋市）との関係が強固

## 【機会】

- 高齢化による医療需要の増加
- 地域包括ケアシステム（在宅医療・介護連携）の推進
- 医療介護ICT本格稼働への対応
- 新たな専門医制度への対応
- 臨床研究中核病院としての機能発揮

## 【弱み】

- 施設投資の遅れ
- 情報収集機能
- 組織体制の未充足（人員・組織・採用時期）
- 入院患者のうち「手術有」患者割合が低い
- 設立団体（名古屋市）からの交付金に左右される

## 【脅威】

- 県内他大学病院の改築と機能強化
- 近隣病院との競合、シェア争い
- 高度急性期病院のハードルアップ
- 医療費縮減政策
- 消費税増税など外部環境の変化
- 南海トラフ巨大地震の発生リスク

# サクラ咲くプランは **"NEXT STAGE"** へ



# サクラ咲くプランNEXTの計画

高度医療提供のための  
病院施設等の再整備

1



地域社会を担う  
優れた医療人の育成

4



市民の医療ニーズに対応した  
医療提供体制の強化

2



安定経営のための  
経営改革の推進

5



臨床研究の強化による  
新しい医療の創出

3



東部・西部医療センター等との  
連携強化による市立大学病院群  
の拡充

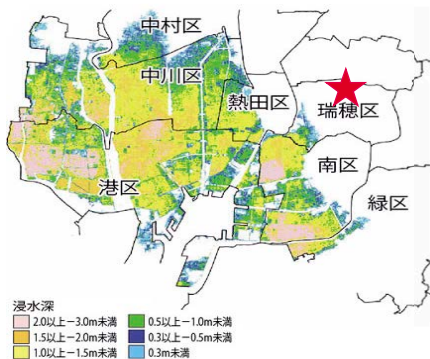
6



# 1 高度医療提供のための病院施設等の再整備

## 救急・災害医療センター(仮称)の運営・地下通路の設置

南海トラフ巨大地震の発生時の想定浸水範囲



南海トラフ巨大地震の発生時に  
最前線の**災害拠点病院**としての機能発揮



今後増加が見込まれる  
**救急需要**への対応



将来の**救急医の養成施設**

# 1 高度医療提供のための病院施設等の再整備

## 将来を見据えた施設整備計画の策定

- 将来の医療需要及び診療報酬改定に対応

## 立体駐車場の整備

- 混雑緩和

## エネルギーセンター設備更新

- 非常時への対応・省エネルギー化

## 先進的医療機器の導入

- 医療機器更新、先進的治療機器・手術機器等



# 1 高度医療提供のための病院施設等の再整備

## ビッグデータの活用・ICT化

- ICT等を活用した「個々人に最適な健康管理・診療・ケア」の提供や、健康・医療・介護のビッグデータを連結した「保健医療データプラットフォーム」の2020年度本格稼働等により、**国民が、世界最高水準の保健医療サービス**を、**効率的に受けられる環境を整備**。

### データヘルス改革の方向性

- ゲノム医療・AI等の最先端技術やビッグデータの活用、ICTインフラの整備などを戦略的、一体的に展開。

- |                |  |
|----------------|--|
| I 最先端技術の活用     | がんゲノム医療の実現、保健医療分野のAIの開発加速化、遠隔診療・介護ロボット |
| II ビッグデータの活用   | ビッグデータを活用した保険者機能の強化、科学的介護の実現           |
| III ICTインフラの整備 | 保健医療分野のデータ利活用基盤の構築                     |



ゲノム医療

AI

遠隔診療

ビッグデータ

保健医療データプラットフォーム 2020年度本格稼働



# 2 市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化

## 名古屋医療圏の推計患者数(ICD大分類)

	2011年		2025年		増減率(2011年比)				全国	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
総数(人)	21,327	122,929	29,807	137,607	40%	12%			27%	5%
1 感染症及び寄生虫症	352	2,957	498	3,033	42%	3%			28%	-3%
2 新生物	2,443	3,676	3,070	4,285	26%	17%			17%	10%
3 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	105	394	149	419	42%	6%			32%	1%
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	561	6,867	840	7,967	50%	16%			35%	9%
5 精神及び行動の障害	4,699	3,903	5,568	4,092	18%	5%			10%	-2%
6 神経系の疾患	1,816	2,472	2,632	3,104	45%	26%			32%	17%
7 眼及び付属器の疾患	193	4,903	246	5,766	27%	18%			20%	11%
8 耳及び乳突突起の疾患	46	1,965	53	2,081	16%	6%			9%	0%
9 循環器系の疾患	3,799	15,112	6,207	20,056	63%	33%			44%	23%
10 呼吸器系の疾患	1,362	12,550	2,250	11,949	65%	-5%			46%	-11%
11 消化器系の疾患	1,034	22,506	1,415	23,608	37%	5%			26%	-1%
12 皮膚及び皮下組織の疾患	244	4,444	362	4,571	48%	3%			33%	-3%
13 筋骨格系及び結合組織の疾患	995	16,304	1,423	20,316	43%	25%			31%	17%
14 腎尿路生殖器系の疾患	743	4,528	1,081	5,066	45%	12%			32%	5%
15 妊娠、分娩及び産じょく	346	272	270	214	-22%	-21%			-24%	-24%
16 産産期に発生した病態	117	48	93	38	-21%	-20%			-29%	-25%
17 先天奇形、変形及び染色体異常	102	200	91	186	-11%	-7%			-19%	-14%
18 症状、徴候及び異常臨床所見、異常検査所見で他に分類されないもの	289	1,422	445	1,571	54%	10%			38%	4%
19 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,939	5,496	2,955	5,798	52%	5%			37%	-1%
20 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	144	12,910	159	13,487	10%	4%			4%	-1%

入院伸び率: 40%  
(全国平均27%)

外来伸び率: 12%  
(全国平均5%)

出典: 日本医師会総合政策研究機構

推計患者数は、患者調査(2011年)に基づき、5 疾病並びに ICD 大分類の入院・外来の年齢構成別受療率に当該医療圏の年齢構成別人口(2011年・2025年)を乗じて算出。

将来の医療需要に対応した医療スタッフの人員確保と体制整備

## 2 市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化

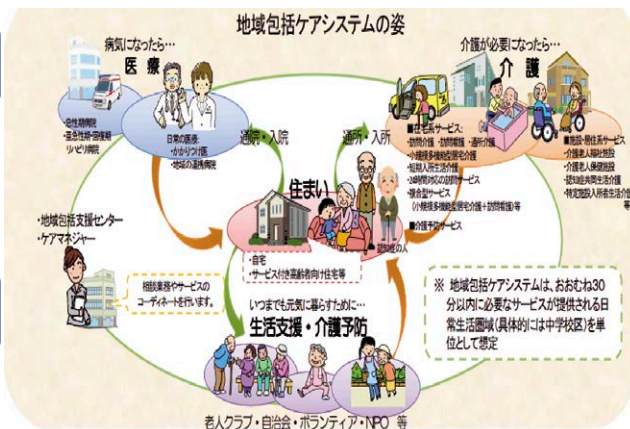
深刻化する高齢化社会への対応

### 医療提供体制の強化

- 高齢者医療に関わる多職種チームの設置
- CGA(高齢者総合機能評価)
- 高齢者用病診連携パスの作成
- 保健医療の推進

### 地域包括ケアシステムの推進への寄与

- 厚生院や在宅医療・介護を提供する事業者との連携



出典：平成25年3月 地域包括ケア研究会報告書

## 2 市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化

### 医療の質の向上

#### 外国人患者受入体制の整備

- 第三者国際認証の受審
- 国際医療部門の設置

#### 災害時におけるDMAT派遣チームの充実

- 複数DMATチームの設置

#### 医療の質改善

- クリニカルインディケーターの設定とベンチマークによる質改善
- リスクマネジメントマニュアルの見直し
- AIの活用



## 2 市民の医療ニーズに対応した医療提供体制の強化

### 将来の医療需要に対応した体制整備

#### 新たなセンター、中央部門の設置・検討

地域医療教育研究センター	地域医療機関との連携強化
地域包括ケア推進・研究センター	大学・病院と地域が一体になった医療・介護連携モデルを研究
高齢者医療センター	高齢者に特有の諸疾患に対する集学的な治療・研究を実施
国際医療連携部	訪日外国人の増加に伴う外国人患者に対する診療を支援
診療技術部	ガバナンス体制確立のため医療技術職員を統括する組織を設置
低侵襲手術センター	ダ・ヴィンチに関する診療体制をアピール
高精度放射線治療センター	高精度放射線治療機器を有する診療体制をアピール
災害医療センター	災害医療のマニュアル等の整備、災害時医療の教育研修を推進する活動拠点

#### 教授(診療担当)の設置

地域包括ケア推進・研究センター担当

いたみセンター担当

医療情報担当

※いずれも仮称

### 3 臨床研究の強化による新しい医療の創出

認定臨床研究審査委員会の設置

医療法上の臨床研究中核病院としての機能強化(体制・基準)

新たな医療技術・新薬・医療機器の開発の方策

先進医療を推進するための財源確保

関係機関との連携強化

- ・ 院内の関係強化⇒**臨床研究戦略部、データセンター、医療デザイン研究センター**
- ・ 学内の関係強化⇒**URAオフィス、薬学部・看護学部・芸術工学部、トランスレーショナルリサーチセンターの設置**
- ・ 東部・西部医療センターとの連携強化⇒**臨床研究セミナー、モニタリング、相互サポート**
- ・ 国との関係強化⇒**PMDA・AMEDとの人材交流**



## 4 地域社会を担う優れた医療人の育成

### 医療人育成センターの設置・充実

#### 新たな専門医制度への対応

- 教育研修システムの整備、全基本領域を基幹施設化
- 卒前/卒後教育の一体化

#### 医療人育成体制の構築

- 医療系三学部(医・薬・看)及び他学部との連携強化

#### 人材アドミッションポリシーの策定

- 優秀な人材の採用、育成方針の策定

#### 研修計画とラダーの策定

- 医療技術職や事務職の人材育成の体系化
- 研修履歴の管理

### 医療人育成センター

研修医・専門医支援

看護師育成支援

コメディカル育成支援

事務職員育成支援



# 5 安定経営のための経営改革の推進

## 病院のブランド化

病院長の権限強化(人事、予算、評価とインセンティブ)

病院機能評価をはじめとする第三者評価の受審

ビッグデータ活用による、効果的な経営改善策の実施

戦略的広報の推進



## 投資

### 新たな施設整備

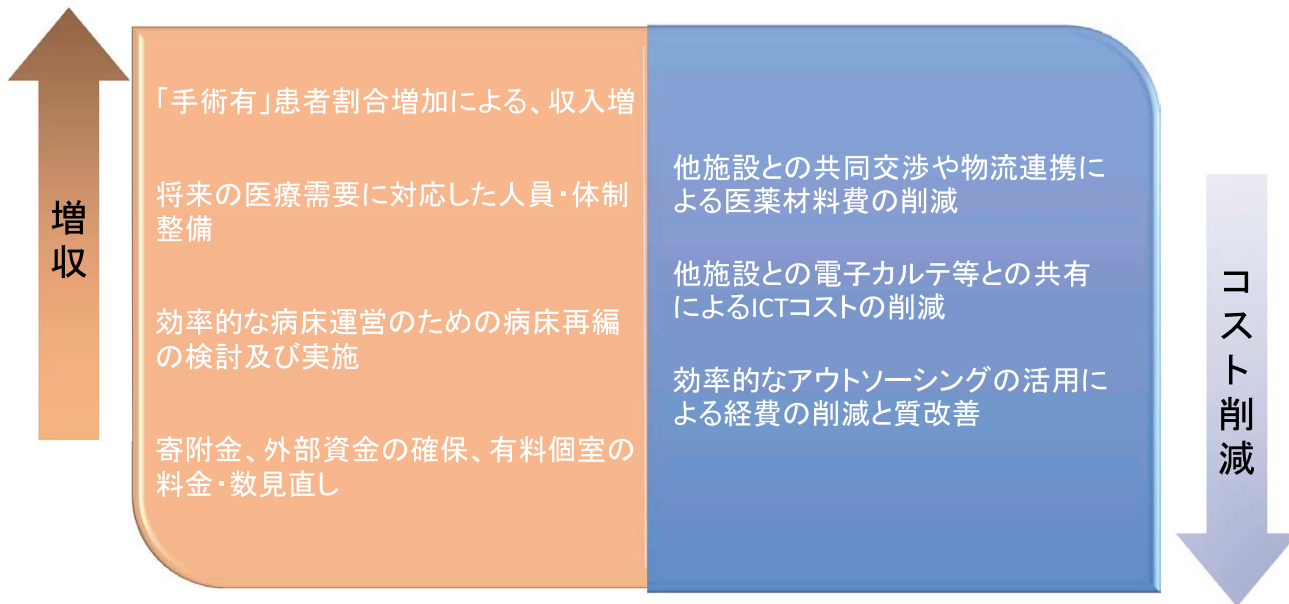
- 救急・災害医療センター(仮称)の運営
- 医療需要を見据えた施設整備

### 医療機器の導入

- 収益を生む医療機器
- 広報戦略



## 5 安定経営のための経営改革の推進





## 6 東部・西部医療センター等との連携強化による市立大学病院群の拡充

名市大病院



病床数: 800床  
診療収入: 約263億円

(※診療収入はH28実績)

東部医療センター



病床数: 498床  
診療収入: 約109億円

西部医療センター



病床数: 500床  
診療収入: 約143億円

一体



名古屋医療圏  
最大級の  
大学病院群

### 診療

- ・名市大・東部・西部での連携強化と機能分担
- ・地域包括ケアシステムへの対応
- ・3施設それぞれの特徴を活かした医療の提供・機能分担
- ・救急・災害医療への取組強化

### 教育・研究

- ・高度医療教育研究センターを中心とする優れた医師の確保と育成
- ・専門医研修を始めとした臨床教育の充実
- ・医療技術職員等の人事交流
- ・市立大学病院が設置予定の認定臨床研究審査委員会、データセンターの共同活用

### 経営

- ・医療機器、材料調達、業務委託等の一元管理によるコストの削減
- ・新たな物流管理システム構築
- ・電子カルテ等の共有によるICTコストの削減

# 1,800床のスケール

## 6 東部・西部医療センター等との連携強化による市立大学病院群の拡充

一体的運営

NC 名古屋市立大学病院  
NAGOYA CITY UNIVERSITY HOSPITAL



名古屋市立 西部医療センター  
Nagoya City West Medical Center



(完成イメージ)

名古屋市立 東部医療センター  
Nagoya City East Medical Center



健診事業

Midtown Clinic  
ミッドタウンクリニック名駅



地域医療連携強化

蒲郡市民病院



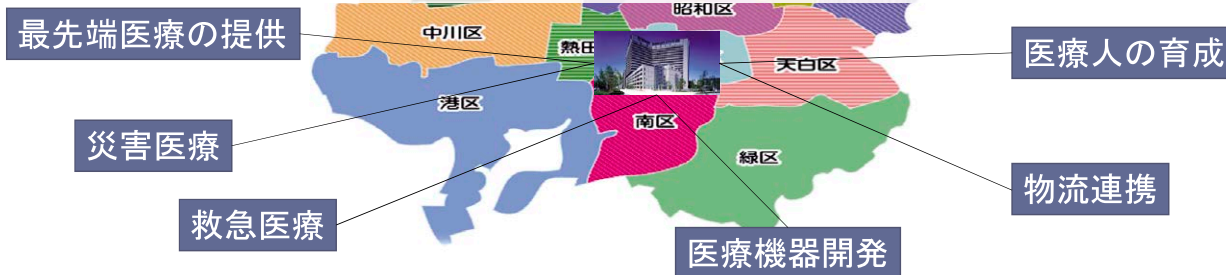
豊川市民病院

## 6 東部・西部医療センター等との連携強化による市立大学病院群の拡充



病院局・健康福祉局・総務局・市民経済局・消防局・  
防災危機管理局・教育委員会等との連携

名古屋の医療は名古屋市立大学病院がリーダーシップを!!



# 職員を大切にする病院へ

## 働きやすい環境の整備

### 働き方改革の実施

- 専門業務への集中
- キャリアプランの策定

### 処遇・研修体制の充実

- モチベーションの向上
- スキルアップ

## 福利厚生 of 充実

### 制度の充実

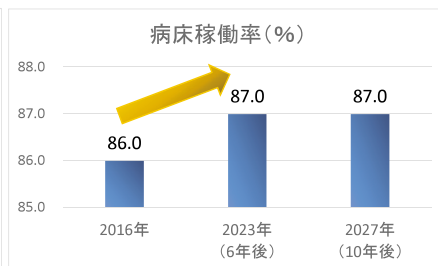
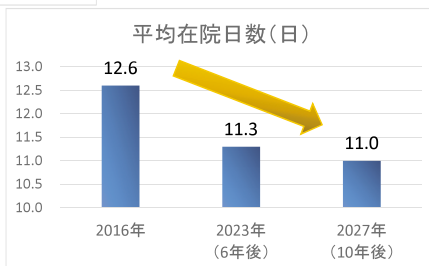
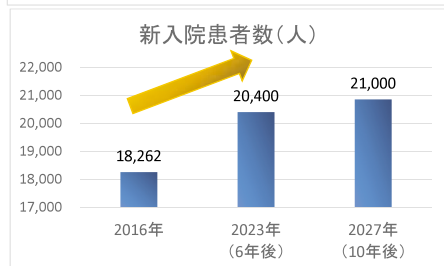
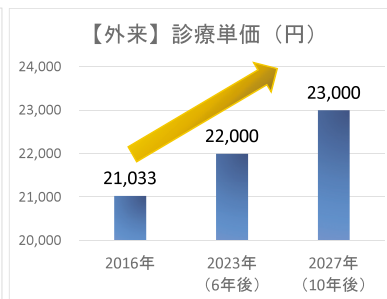
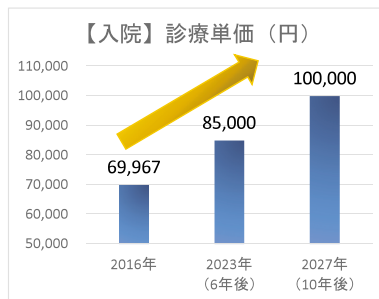
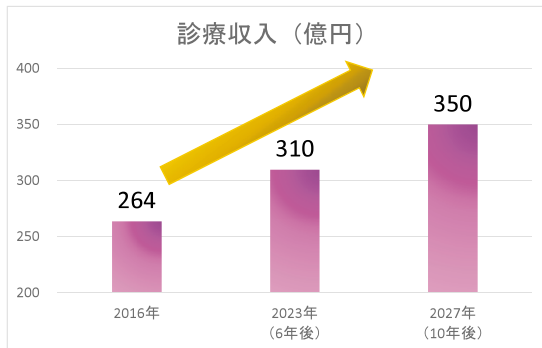
- 福利厚生事業の拡大

### 職員アメニティの充実

- フィットネス、リラクゼーション



# 未来のパフォーマンス



# 今後のスケジュール





名古屋市立大学病院  
NAGOYA CITY UNIVERSITY HOSPITAL